吉祥苑

社会福祉法人 福徳会

令和２年度　事業報告

特別養護老人ホーム　吉祥苑

ショートステイサービスセンター　吉祥苑

デイサービスセンター　吉祥苑

居宅介護支援センター　吉祥苑

障害者支援センター　吉祥苑

法人本部

1.法人の運営報告
2.事業活動収支について
3.人事労務
4.年間スケジュール報告(法人、職員・ご利用者)
5.新型コロナウィルスによる感染症予防及び対策について
6.総評

1.法人の運営報告

【理事会・評議員会・監事監査の開催】

① 理事会

開催日時	議案
6 月 11 日(木)	1.令和元年度事業報告について 2 令和元年度決算報告について 3.任期満了に伴う第三者委員の選考について 4.評議員会の開催について 5.経理規程の変更について 6.運営規程の変更について その他　監事監査について，職務執行状況報告について
3 月 23 日(火)	1.令和 2 年度第一次補正予算について 2.令和 3 年度事業計画について 3.令和 3 年度予算について

② 評議員会

開催日時	議題
6 月 25 日(木)	1.令和元年度事業報告について 2 令和元年度決算報告について その他　監事監査について，社会福祉充実計画について
3 月 30 日(火)	1.令和 2 年度第一次補正予算について 2.令和 3 年度事業計画について 3.令和 3 年度予算について

③ 監事監査について

開催日時	監査実施内容	監査の意見及び指摘事項
6 月 11 日(木)	平成 31 年 4 月 1 日より令和 2 年 3 月 31 日の理事の職務の執行状況について	事業報告及びその付属明細書は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認める。 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。 計算書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重大な点において適正に表示しているものと認める。

【その他】

内部経理監査について

開催日時	実施内容	指摘事項
6 月 11 日(木)	令和元年 12 月～令和 2 年 3 月分の内部経理監査(内部経理監査担当:土屋俊夫理事、職員代表及び出納職員により経理規程に則り監査を行った。)	特になし
10 月 7 日(水)	令和 2 年 4 月～令和 2 年 7 月分の内部経理監査(内部経理監査担当:土屋俊夫理事、職員代表及び出納職員により経理規定に則り監査を行った。)	特になし
3 月.30 日(火)	令和 2 年 8 月～令和 3 年 11 月分の内部経理監査(内部経理監査担当:土屋俊夫理事、職員代表及び出納職員により経理規定に則り監査を行った。)	特になし

指導監査について

新型コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み中止となった。

2.事業活動収支について(事業活動収支計算書)

<サービス活動収益> 378,077,982 円 前年度対比 +1,700 万円

主な要因

①特別養護老人ホームの稼働率上昇等による増収入(前年度比+960 万円)

②補助金事業収益の増収入(+200 万円)

③市町村特別事業収益の増収入(+420 万円)

第 1 の要因は特養の稼働率が上がり増収入になったこと。(稼働率前年度比+1.3%)
又、全体的に介護度が上がった事により、それに伴う加算算定による増収入、介護福祉士の割合により算定できる加算の増収入、全体の合計単位数が増えた事により収入がアップした。
(コード 0056 施設介護料収益)
その他の要因は補助金の増額によるものであり、新型コロナウィルス緊急包括支援事業により全事業所に対し、定員数や各事業所に応じた補助金額の支給があった為増額となった。
又、成田空港の滑走路拡張による騒音防止対策補助金が 2 年度より増額した為収益がアップした。
(コード 5181 補助金事業収益, コード 5182 市町村特別事業収益)

<サービス活動費用> 336,889,089 円 前年度対比 −2,697 万円

主な要因

①人件費の経費減額(−1,600 万円)

②水道光熱費の経費削減(−220 万円)

③修繕の減少(−1,570 万円)

第一の要因として、人件費が減少した事によるもの。嘱託医の報酬額が令和元年 12 月より業務委託となり、11 月までは人件費として計上しており、2 年度は全額業務委託費へ計上している為減額になった。又、育児休暇中の職員 4 名分の人件費がかかっておらず、代替の職員の採用も試みたが思うように採用に至らず、人件費が減額となった。(コード 0015 人件費)

第一期の空調入替工事が完了したことにより、エアコンが省エネタイプになり、電気代の削減に繋がった。(コード 4223 水道光熱費)

その他、修繕費は、令和元年度にボイラーの工事や空調の工事、給水ポンプに修繕を要し費用が高額となったが、2 年度には大きな修繕が無く、費用の削減に繋がった。空調の入替工事を行った事により空調修理が大幅に減った事も大きな要因となる。(コード 4319 修繕費)

<サービス活動増減差額(サービス活動収益−サービス活動費用)>

41,188,893 円　前年度対比　+4,400 万円

<当期活動増減差額>　42,252,356 円　前年度対比　+4,450 万円

コロナ禍での状況ではあったが、稼働率も大幅に減少することなく収入に大きな影響は無かった。
2 年度より騒音防止対策の補助金が 423 万円増額になった事は、今後の経営状況を大きく左右する額となる。
支出については、人件費が減額になった事は収支に影響し経費自体は削減になっているが、職員間でも、育休中の職員が 4 名いない中で業務を効率よく、又、各自が役割を持って務めてくれた事によるものだと考える。職員の配置と人件費については、業務内容、職員の能力を精査した上で今後も検討していきたい。今までかなり高額になっていた修繕費は、空調の入替工事が完了した事により経費の電気代や修繕費の削減に大きく影響した。

耐用年数を経過していくと、機械の性能や効率も悪くなっていく為、設備や備品についても精査していきながら入替等の検討をしていきたい。

3.人事労務

<入退職>
R2 年 3 月 31 日～R3 年 3 月 31 日まで

	介護部	看護	給食	デイ	機能訓練	居宅	相談部	事務部	介護補助	障害者センター	他	計
R2.3.31 現在	26	4	9	14	1	3	2	3	7	1	3	73
入職	6	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	12
退職	8	0	2	3	0	3	0	0	0	0	0	16
R3.3.31 現在	24	4	10	13	1	1	2	3	7	1	3	69

<新規採用者定着率>　入職後 1 年以上継続雇用がある職員の割合

年度	27	28	29	30	R1	R2
入職者	20	21	26	13	14	12
退職者	7	5	7	1	4	6
定着率(%)	65	76.2	73.0	92.3	71.4	50.0

過去5年間と2年度を比較すると今年度の継続雇用率は過去最低の結果であった。人材紹介会社を活用し採用した職員は6名居り、経歴も能力も申し分無いが、自身の意見に固執してしまう傾向がある。入職の際、法人理念や業務の流れについて、先ずは理解してもらう事が大切だと感じた。

<職員採用状況内訳>

項目	新卒採用	インターネット求人掲載	人材紹介	職員より紹介	合計
人数	1	4(うち退職1)	6(うち退職3)	1(うち退職1)	12(うち退職5)

2年度は、スカウト型の求人を新たな媒体として利用したが、面接まで行き着いたのは0件だった。人材紹介会社を利用して採用に至った職員については退職率が50%に至った。

<キャリアアップ>

・介護福祉士資格取得者・・2名

4.年間スケジュール

法人

R3年度 年間事業計画(法人)														
項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
人事等	職員昇給・辞令・雇用契約	1												年1回
	給食部職員検便検査	6	11 25	8 22	6 20	3 17	7 25	5	9	7	4	1	1	
	個人面談 職員賞与支給			30						10				賞与支給時
		6月賞与支給後、7/6～7/31に個人面談を行った。						12 月賞与支給後、12/11～12/31に個人面談を行った。						年2回
設備保守、検査等	水質検査	20	14	16	7	13	14	28	12	10	14	4	31	
	給水設備点検	2			2			2			4			年4回
	水道技術管理者点検	2 27	26		2	4	2	2	4	1	4	1	1	
	浄化槽点検	4 18	2 16	6 20	4 18	1 22	5 19 ※1	3 17	7 21	5 18	8 22	5 18 ※2	6 19	2回/月
		※1 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ2台、ﾌﾛｰﾄ不良 9/8修理完了 ※2 調整ﾎﾟﾝﾌﾟ槽、仕切板破損 3/1修理完了												
	電気工作物点検	10	18	8	3	19	2	5	2	7	5	2	11	
	電気工作物年次点検							11						年1回
	特定建築物定期報告			10										年1回 問題なし
	水道立入検査(山武保健所)													中止
	空調設備保守点検				17			15		15			11	年4回

	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	給湯設備点検			14										年1回
	自動ドア保守点検			25						16				年2回
	レジオネラ検査				13 ※									年1回
		※2F 機械浴に基準値を超える数値検出。 その後浴槽洗浄後再度検査し、基準値に適合。												
	消防設備点検 （機器・総合）						11						12 ※	年2回
		※消火器1本不良の為交換												
委託清掃業務	ゴミ置き場清掃	10 24	8 22	12 26	10 24	7 21	11 25	8 30	13 27	11 25	15 29	12 26	12 26	月2回
	浴室清掃	16		15		12		15		2		2		偶数月
	貯湯槽清掃			14										年1回
	貯水槽清掃			14										年1回
	地下タンク清掃及び漏洩検査													中止
	衛生害虫駆除及びねずみ防除			17			10			10			23	年4回
	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
車両点検	1号車(ハイエースリフト車)		31 車検							6 点検				
	2号車(ラクティススロープ型)				5 点検						17 点検			※リース車
	3号車(アルファードスロープ型)			7 点検					25 車検					※リース車
	5号車(ハイエースリフト車)				26 点検						24 車検			
	6号車(日産キャラバン)			21 点検							6 点検			
	A号車(タンク)										16			新規 ※リース車
	B号車(シエンタ)				19 点検				22 点検					※リース車
	C 号車(ポルテ)		24 車検						22 点検					
	D 号車(ミライース)							18 点検					25 車検	※リース車
	E 号車(ハイゼットカーゴ)	5 車検						18 点検						※リース車
	F号車(アクア)										15			新規

	軽トラック	5 車検												※リース車
その他	横芝光町騒音防止対策維持管理等補助金に係る実績報告	1												
		実績報告額 (内訳)電気料金 8,966,443 円 維持管理 1,165,890 円 その他(空調工事実費分) 15,093,000 円												
	4/1 現在入所者平均年齢状況報告書	1												
		平均年齢 男性 80.9 歳・女性 88.8 歳・全体 86.8 歳												
	現在入所者状況報告書	1						1						
	4/1 現在職員状況調査報告	6												
		4/6 千葉県高齢者福祉課へ報告(特養職員のみ) 常勤換算数 介護職員 24.9 人 看護職員 4.0 人 他 常勤 17 人 他非常勤 9 人												
	内部経理監査		11				7						30	問題なし
	監事監査		11											
	事業報告及び決算報告			11 25										
	理事会			11									23	
	評議員会			25									30	
	給食施設巡回指導													中止
	芝山町民生委員訪問									23				中止
		訪問自体は中止。代替えとして生花を寄贈して頂いた。												
	県指導監査													中止

ご利用者及び職員

R3 年度　年　間　事　業　報　計　画(施設)														
項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
会議・委員会等	全体会議	1 2												年1回
	介護部会議		13		1		3	2		2		3		
	リーダー会議		9	19	31		29	19	30	25	18	23	20	
	介護看護会議	1		3		5			4		6		3	
	カンファレンス	13	11	8	13	3	14	19	2	14	4	8	8	
	デイサービス会議	7	12	9	7	4	8	6	10	8	5	9	2	
	個別機能訓練会議	1	5	1	1	3	1	6	3	1	5	2	1	
	給食部ミーティング	9	15	12	20	11	8	11	10	19	12	15	10	
	給食会議	7	12	9	7	4	1	9	5	1	12	2	5	
	業務改善会議	24	22	26	31	28	25	23	27	25	29	26	26	
	レクリエーション会議		25		27		28		30		25		29	
	ショート会議	6	4	1	6		7		2		18	1	1	
	ショート・デイ連絡会議	6		1		3		5		7				
	感染症対策委員会	20	8		10		18		13		8 19 28	4	12	
	リスクマネジメント委員会		14			8			12	17			11	
	衛生委員会	23	19	25	16	20	18	16	13	18	15	19	12	
	看取り委員会	16	21	18	9	20	17	15	19	17	21	18	18	
	褥瘡委員会							5	6	11	15	12	19	
	防災訓練，防災委員会			17					18				17	
	防災備蓄食訓練		27				11		11					
	高齢者権利擁護・身体拘束廃止委員会	20			20			19			18			年4回
勉強会等	接遇	29 30										11 18		
	高齢者権利擁護・身体拘束廃止		14 18						27 30					
	看取り						28	26			20			
	感染症			15 16						4 10				
	ﾘﾊﾋﾞﾘ・ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ										22	10		
	ガウンテクニック											15 19 22 25		
	リスクマネジメント					24	4					24 26		
	介護技術研修(口腔ｹｱ)									18 21				

	介護技術研修(褥瘡)						29 30							
	介護技術研修(認知症　基礎技術)								20 25					
その他	腰痛検診				20 21							27		
	ストレスチェック												1	
	健康診断				25						20			
	予防接種(インフルエンザ)							29	5 12					
項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	散髪(理容師・美容師)		12 18 19 25	18	14 16 27	11 20 24	8 17 28	13 15 26	10 19 24	8 17 21			9 18 22	
	出前の日	15		10										
	裏庭散策		10 17 31					19 ～ 22 27 ～ 31						
	あじさい見学			16 17										
	体力測定			10 ～ 27										
	マックの日				14	19	9	29	25					
	ミニ縁日				22									
	そうめんﾊﾞｲｷﾝｸﾞ					17 19 20 21								
	ところてん					31								
	敬老会						16							
	おはぎ						23							
	白玉ぜんざい						29							
	ハロウィン							30						
	ベビーカステラ								26					
	柚子風呂									7 ～ 21				
	焼きリンゴ									24				
	もちつき									28				
	イルミネーション									23 24				
	新年会										1			
	書初め										4 ～ 8			
	焼き芋会										13			

	初詣										16～22			
	うどん作り										20			
	豆まき											2		
	フルーチェ作り											10		
	バレンタインイベント											15		
	梅見学												13	

行事食メニュー

4 月	筍御膳 (4/23)	筍ご飯，鯖味噌煮，ほうれん草胡麻たれかけ，清まし汁，抹茶ババロア
	苺ザート(4/25)	フルーチェケーキ
5 月	端午の節句御膳(5/5)	端午の中華おこわ，茶わん蒸し，しらすおろし，清まし汁，二色ゼリー
	母の日デザート(5/10)	カーネーションクレープ
6 月	紫陽花御膳(6/12)	カニ飯，松風焼き，里芋田楽，じゃこの酢の物，清まし汁
	父の日御膳 (6/20)	焼き鳥，ちくわ磯辺揚げ，冷ややっこ，清まし汁
7 月	土用の丑の日(7/20)	鰻丼，カニと胡瓜の酢の物，冬瓜えびあんかけ，抹茶ゼリー
	七夕膳(7/7)	七夕素麺，鶏肉塩麹焼き，白菜柚子香和え，七夕ゼリー
8 月	葉月御膳(8/1)	だし茶漬けご飯，豚しゃぶごまだれソース，野菜炒め、ほうじ茶ゼリー
9 月	松花堂弁当(8/1)	ちらし寿司，鶏肉唐揚げ，炊き合わせ，小松菜和え，清まし汁，梨
10 月	きのこ御膳(10/5)	きのこご飯，豚肉生姜焼き，さつま芋レモン煮，しいたけおろし和え 清まし汁
	芋煮会(10/20)	芋煮会，秋刀魚塩焼き，春雨と小松菜辛子酢和え，芋煮，葛饅頭
11 月	紅葉狩り御膳(11/10)	栗ご飯，鮭バター醤油焼き，大根と豚肉煮，青梗菜湯葉和え 清まし汁
	おでん(11/20)	梅しらすご飯，おでん，青菜お浸し，味噌汁，芋ようかん
12 月	冬至御膳(12/21)	茶飯，牛肉と南瓜炒め，大根煮，白菜柚子和え，味噌汁
	デザートバイキング (12/19)	ティラミス，南瓜プリン，レモンパウンドケーキ，小豆煮，チーズケーキ，マフィン，チヂミ，ピザパン，ロールケーキ，カットケーキ，みかんゼリー，コーヒーゼリー
	年越しそば(12/31)	年越しそば，かき揚げとさつまいも天ぷら，大根梅和え，みかんゼリー
1 月	おせち料理(1/1)	赤飯，赤魚柚子胡椒焼き，紅白蒲鉾，黒豆煮，だし巻き卵，紅白なます，雑煮，いちご
	七草粥(1/7)	七草粥，鮭塩焼き，南瓜煮，もやしカニ和え、清まし汁
2 月	節分膳(2/2)	巻き寿司，大豆煮，カリフラワーサラダ，そば椀
	梅祭り御膳(2/25)	ゆかりご飯，アジフライ，五目きんぴら，酢の物梅風味，清まし汁
3 月	ひな祭り御膳(3/3)	ひな祭りちらし，豆腐野菜あんかけ，鶏しんじょう菜の花清まし汁， ひし餅風プリン
	天ぷら祭り(3/19)	海老と野菜の天ぷら，筑前煮，清まし汁，抹茶ゼリー

5. 新型コロナウィルスによる感染症予防及び対策について

日付	動向	状況及び対応
R2.2 月	全国的に新型コロナウィルスによる感染症が増加傾向	厚生労働省からの通達により、施設内において感染症予防対策のチェックリストを作成し職員に通知。 出入り業者へも検温とマスク着用の徹底を周知。 密の可能性が発生する行事や食事イベントを中止。 長期入所者の面会を中止。
R2.4.7	緊急事態宣言発令	事務所受付にビニールシートを張り、関係業者、関係機関の出入りを制限。 感染症対策委員会を開催し、今後の感染対策について話し合う。 感染症が発生した際に直ぐに連絡ができるよう、入苑の際には氏名、市町村、連絡先の個々の記載依頼。 デイサービスのご利用者 7 名の、緊急事態宣言中の利用キャンセルが発生。 障害者支援センター、居宅介護支援センターは訪問を控え、書類の郵送及びポストインで各ご利用者との接触を控える。
R2.4/14	町内において陽性者の確認	4/20 を目途に、ショートステイ及びデイサービスの併用利用を中止し、事業所内で感染症が発生した場合に、発生源の特定をしやすくする為、又クラスターを防ぐ為単体利用に切り替える準備を行う。 その際、どのサービスを利用するか、ご家族に選択していただく。 LINE を利用したビデオ通話(オンライン面会)を開始。
R2.4/16	町内医療機関にて新型コロナウィルス発生	職員内緊急グループ LINE にて注意喚起。
R2.4/17		4/1 以降に新型コロナウィルスが発生した医療機関に受診したご利用者について、利用制限(ショートステイ, デイサービス) 医療機関に受診や、訪問を行った職員に対しても注意喚起。 又、休憩中の食事の際には他者と離れ飛沫防止に努める。
R2.4/24		4/1 以降に新型コロナウィルスが発生した医療機関に受診したご利用者について、利用制限を解除し通常利用を行う。(ショートステイ, デイサービス)
R2.6/1		ショートステイ及びデイサービスの単体利用を解除し、通常利用を再開。(但し、他のサービス事業所を利用予定のご利用者については引き続き利用制限を行う。)
R2.6/15		他のサービス事業所を利用予定のご利用者についても、通常利用を再開。
R2.7/1	面会再開	近況を鑑み、検温、マスク着用、ロビーで 15 分以内で行う事とし面会を再開。
R27/15	面会中止	新型コロナウィルスの発生状況を鑑み再び面会を中止。

R3.1/16		1/20 を目途に、再びショートステイ及びデイサービスの併用利用を中止し、事業所内で感染症が発生した場合に、発生源の特定をしやすくする為、又クラスターを防ぐ為単体利用に切り替える準備を行う。 その際、どのサービスを利用するか、ご家族に選択していただく。
R3.3/31		ショートステイ及びデイサービスの単体利用を解除し、通常利用を再開。

マスク等寄贈について

厚生労働省，横芝光町社会福祉協議会，横芝光町，ミネベアミツミ株式会社，総武中央ライオンズクラブ，株式会社ファーストリテイリング(ユニクロ)，特定非営利活動法人リンク，株式会社ワイティーエス

6.総評

3 年度より本格的に始動する働き方改革の準備段階として、各部主任より基本的な業務の能力や取り組み姿勢について聞き取りを行い、キャリアパスシートの整備を進めた。有休取得について個人が計画的に取得できるよう、給与明細書に有給消化日数、現在の取得状況について通知を行い、10 日以上有休が発生している職員に対する 5 日以上の有給取得率は 100%であった。

令和元年度より行っている教育施設騒音防止対策事業では、空調の入れ替えを行う箇所についてご利用者の居室が該当した為、居室が一時的に変更になる事に対する説明を、ご利用者、ご家族に行い、ご理解の基、無事に工事が完了した。

令和元年度に起こった台風による停電被害の状況をふまえ、9 月頃に発生が予想される台風前に防災委員会を開催し、懐中電灯や発電機の燃料の確認、台風前日に浴槽に水をはっておく等、できる限りの対策を行った。

長期に渡り蔓延している新型コロナウィルスへの感染対策として、年度当初の緊急事態宣言が発令された時期には「感染予防対策チェックリスト」を作成し、感染予防対策に尽力した。下半期を過ぎた頃より、感染予防対策からクラスター対策についても進めていき、感染症が発生する可能性があり得る状況下で、発生した場合に拡大を最小限に抑えるクラスター対策について話し合った。感染ゾーンや隔離を行う居室の選定、ガウンテクニックについても学び、又職員間で共有し、備えた。

緊迫した状況も続く中親睦会等も一切行う事ができず、少しでも職員のモチベーションが保てるよう、高校生未満のご家族がいる職員には、1 人 10,000 円のコロナ給付金を 6 月のボーナス時に支給、又親睦会費として積立を行っている「吉祥会」より 1 人 5,000 円のコロナ給付金を支給、また国から介護従事者に慰労金が支給された為 1 人 50,000 円の支給を行った。11 月には丸亀製麺より、キッチンカーでのうどんの提供を受け、働く職員のひと時の安らぎと励みになった。

終息には程遠いコロナ禍ではあるが、ご利用者が抱えるストレスだけでなく、職員のモチベーションの維持やストレスの軽減、メンタルサポート等安心し継続的に働ける環境を作っていきたい。

特別養護老人ホーム

1.介護度・延人数・稼働率
2.身体拘束
3.リスクマネジメント
4.総評

1. 介護度・延人数・稼働率（入所定員 60 名）

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	前年度平均
介護度	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
延人数	1,798	1,860	1,791	1,839	1,858	1,800	1,813	1,784	1,815	1,776	1,636	1,852	1,802	1,783
稼働率	99.9	100	99.5	98.9	99.9	100	97.4	99.1	97.6	95.5	97.4	99.6	98.7	97.4

2.身体拘束

なし

3.リスクマネジメント

<事故報告(ショートステイ含む)>

月別

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	**合計**	**前年度**
件数	5	2	3	1	2	1	3	5	4	1	0	2	**29**	**31**

発生内容別

誤嚥等	誤飲異食	他ご利用者の関わりによる事故	内出血剥離	転倒転落	**合計**
4	4	2	6	13	**29**

今年度は、誤嚥や異食等の摂食に関する事故が多数あった。他のご利用者が使用する為に用意しておいた薬用シャンプーの封を開け飲んでしまうケース、職員が、カウンターに置いておいたハンドクリームのふたを開け吸ってしまうケース等、通常では考えにくい物を口に入れてしまうケースが発生した。

中でも、夜勤帯に起こった事故で、夜間居室へ伺うと、ちぎったオムツを口の中に入れ、意識及び呼吸が見られないご利用者を発見する事故が発生した。口腔内には鶏卵大のポリマーが入っており、口腔内のポリマーをかき出し吸引処置、AED を使用し救命措置を行い、同時に医師及び救急隊へ連絡した。結果、心不全により死亡したケースであったが、警察からの事情聴取の際、ご自身にあてているオムツを日常的にちぎってしまう様子が見られていた事を介護ケア記録と共に説明を行った。

ご利用者の日常的な様子は職員間でも理解はしているものの、記録として残していない内容が多数ある。重大な事象が発生した場合には、その根拠となる記録が大変重要になってくる為、次年度はケアの内容についての記録はもちろんの事、そのご利用者の様子についても記録を残す事を重点的に進めていく。

<ヒヤリハット(ショートステイ含む)>

月別

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
件数	16	19	8	7	7	5	12	6	3	7	17	4	111	95

発生内容別

転倒転落	誤飲	徘徊離苑	破損紛失	内出血剥離	這い出し	チューブ抜去	食事	送迎中	他	合計	前年度
64	7	6	2	15	3	3	6	1	4	111	95

大事に至らなかった危険予知をヒヤリハットとしてあげている。徘徊、離苑の分類の中に、非常口よりバルコニーへ出て歩いている所を発見したケースがあった。過去にも離苑事故があったが、早期に発見できた事や、階段及びスロープに施錠がされていた事もあり苑外へ出る事は無かった。
食事についての、配膳ミスや食事形態の相違によるヒヤリハットもあり、今期は食に関するヒヤリハットが多くあった。食に関するミスは、誤嚥のリスク等も生じる事から十分注意した上で行っていく事とする。

<苦情>なし

4.総評

日勤帯の業務を充実させる為、準夜勤帯のシフトを無くし早番から遅番の就業時間に職員を集中させ、又、業務分担表を作成し業務内容を各職員が把握する事により入浴ケアや、排泄ケアを規程時間内に終える事ができ、業務が滞り無く進められるようになった。

看取りケアは、毎月委員会を開催し、看取りケアを行っていくご利用者の確認やマニュアルの見直しを随時行う事により職員の看取りケアに対する意識改革を図った。新規入所のご利用者に対しては同意書の説明と共に同意を頂き、看取りケアに対するご家族の意思確認も積極的に行った。
デスカンファレンスでは、そのご利用者に対し行った看取りケアを実績として各自に提出してもらう事により、各職員がそのご利用者に対しどう向き合ってきたかを振り返る機会を作った。
行事の中では、看取りケア対象のご利用者を優先的に参加していただくようにし、最期の思い出作りに貢献した

9 月より始動した褥瘡委員会では、褥瘡の発生原因、防ぐ為の対策について話し合い、医療面、栄養面、介護面等様々な観点から分析し、褥瘡防止と改善についてPDCA サイクルに沿って進めていった。

コロナ禍でも楽しめる行事として外出の機会を設け外食に行っていたイベントも、出前やテイクアウトを活用し、施設内でも楽しめる食事イベントを行った。特にマクドナルドのシェイクはご利用者にとても好評であり、普通形態の食事を摂取するご利用者からミキサー食摂取のご利用者までオールマイティーに楽しんで頂ける所が魅力であり、甘くて冷たいアイスの様なジュースの様な美味しい飲み物をストローで一生懸命吸うご利用者の姿がとても印象的だった。
マクドナルドは出張サービスができるとの情報があり、コロナウィルスが終息した際にはぜひ活用したいと考えている。

ショートステイサービスセンター

1.介護度・延人数・稼働率
2.身体拘束
3.リスクマネジメント
4.総評

1.介護度・延人数・稼働率（利用定員 10 名）

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	前年度平均
介護度	3.2	3.4	3.0	2.9	2.9	3.0	2.9	3.0	2.9	3.1	3.0	2.9	3.0	3.0
延人数	207	189	244	278	261	254	284	286	254	247	264	239	251	244
稼働率	69.0	61.0	81.3	89.7	84.2	84.7	91.6	95.3	81.9	79.7	94.3	77.1	82.5	80.1

2.身体拘束

なし

3.リスクマネジメント

<事故>

夕食後居室にお連れしベッドへ移乗し、その後他のご利用者を順次居室に案内している最中に最初にベッドへ移乗したそのご利用者の異変に気付く。呼吸が停止している状態であり、直ぐに看護職員を呼び他の介護職員と共に吸引処置を行う準備を開始。ベッド脇の床の上に仰向けに寝かせ AED を使用しながら救命措置を行うと共に救急車を要請した。病院に搬送されたがその後死亡が確認された。処置内容としては、特段懸念点は無いが、発生当日の 18:45 頃は日勤帯の職員が多数居り、救命処置、救急要請、ご家族へ連絡等の役割を各職員で行う事ができたものの、同じような状況が起こった際に職員数の少ない夜間帯にも確実に行えるように、今後は緊急時の救命措置訓練を行っていく予定で次年度に計画を立てていく。

<苦情>なし

4.総評

在宅で過ごすご利用者は、他のサービスを利用していたり、ご家族と同居されていたり、医療機関への定期受診があったりと様々な状況下でショートステイサービスを利用している。他事業所や医療機関等の感染症発生状況や情報を収集し、感染対策を行いながら利用を継続していけるよう努めた。

又、出前イベントにも積極的に参加していただけるよう、ご家族への連絡を密にし、コロナ禍でも飽きのこないサービスが提供できるよう務めた。

忘れ物は以前と比較すると減少したが、月に 1 度程度は継続し発生している。利用終了時に忘れることなくお返しするには、どの時点に問題があるのか分析をしていきながら次回の忘れ物防止に努め、都度改善策を見出している。

デイサービスセンター

1.介護度・延人数・稼働率
2.身体拘束
3.リスクマネジメント
4.総評

1.介護度・延人数・稼働率前年度比（利用定員 25 名）

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	前年度平均
介護度	2.1	2.0	2.1	2.2	2.1	2.0	2.1	1.9	1.9	1.8	1.7	1.8	2.0	2.1
延人数	398	413	436	483	513	520	546	481	476	409	390	448	459	
前年度延人数	484	506	449	459	476	405	461	487	489	461	472	480	469	
稼働率	61.2	61.2	67.1	71.6	78.9	80.0	80.1	77.0	76.2	68.2	65.0	66.4	71.1	
人数（日）	15.3	15.3	16.8	17.9	19.7	20.0	20.0	19.3	19.1	17.1	16.3	16.6	17.8	
前年度稼働率	74.5	75.0	71.8	76.5	70.5	64.8	68.3	74.9	81.5	75.5	75.5	73.8	73.6	

2.身体拘束
なし

3.リスクマネジメント
<事故報告>
なし
<ヒヤリハット>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	5

発生内容別

転倒	合計
5	5

<苦情>
なし

4.総評
　今年度より開始した１分間スピーチでは、急な名指しでも人前で話せるようになり、又、話の内容が見つからない際には、他の職員が話題を提供する等部署全体で盛り上げ、コミュニケーション能力を向上させる取り組みが図れた。
おやつ提供時に、お好きな飲み物を選択していただく事により、そのご利用者が提供されたものをただ口にするだけでなく、選択する楽しみ、ご利用者の好みを知る事によりそのご利用者自身をより知る事

ができる効果に繋がった。ご利用時の状況について、居宅のケアマネージャーには、ご家族からの連絡やご利用者の様子を即座に伝える事により方向性が見出せている。
　コロナ禍で外出が困難な状況である中、裏庭を散歩しながら日光浴を行い、又その際に空気の入れ替えも同時にする事により、換気、リハビリ、気分転換等の効果が得られた。
その他、大きな声を出さなくても行えるレクリエーションを職員間で考案し、回想法やテーブルゲーム等も行いコロナ禍での利用も継続しながら感染予防対策にも配慮した。
　今年度、書道の作品を介護の月刊誌に応募したところ、ご利用者が入選し本に掲載された。ご利用者やご家族の喜ばれたお顔が印象的であり、又同時に周囲のご利用者への刺激にもなり、意欲に繋がっている。今後も、作品を応募できる機会を増やし、ご利用者のモチベーションアップに繋げていきたい。

居宅介護センター

1.計画実績数
2.総評

1.計画実績数

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	前年度平均
実績数（介護）	68	70	71	70	72	72	71	73	68	49	33	1	59.8	63.8
実績数（予防）	5	5	6	6	6	6	6	3	6	4	2	0	4.6	8.5

2.総評
　2 名体制で事業を行っていたうち 1 月に職員の急逝、その後 1 名の退職により居宅介護支援事業所の運営が一時的にストップする事態となった。
受け持つご利用者に迷惑がかかることの無い様にサービスを継続させることを第一優先とし、匝瑳市、横芝光町、山武市、芝山町の居宅介護支援事業所にご利用者を受け持ってもらえるよう依頼し、1 月中には全てのご利用者の担当ケアマネージャーが決定した。
再スタートとなる居宅介護支援事業所では、新規ご利用者の獲得に向け、横芝光町、芝山町、山武市松尾町の包括支援センターに赴き、信頼関係を構築させるところから始めている。

障害者支援センター

1.計画実績数
2.総評

1.計画実績数

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	前年度平均
実績数	21	18	18	23	26	20	19	25	21	27	21	23	21.8	17.3
契約者数	120	121	122	122	122	123	123	123	123	123	124	124	122.5	116.4

2.総評

コロナ禍での感染拡大流行期には、複数の事業所が休止や受け入れ制限により、ご利用者の活動や利用する場所が無くなってしまい、自宅での自粛生活の中、定期的な訪問は感染予防の為電話での対応を行った。
又、ご家族やご利用者から訪問を断られるケースもあり、更新手続きやモニタリング等も電話での聞き取りや書類を郵送にし、非接触の対応を行った。
ご利用者には感染症の注意喚起を都度行っていたが、ご家族が勤務先で新型コロナウィルスに感染し、その後自宅で共に生活をしていたご利用者が感染してしまった。その際には、行政への報告、相談、サービス事業所への報告、保健所との相談をこまめに行った。
又、行政からの支援物資が届かず買い物にも行けなかったそのご利用者へは、衛生用品や食品、飲料等を玄関先まで届ける物的支援も行った。
相談部会はオンラインでの開催になり、その際には各事業所の感染対策等情報交換が行えた。
訪問での外出が減った分事業所内での勤務時間が増え、研修により多く参加する時間や情報収集、専門的知識を学ぶ事ができた。